

(別添資料1)

事業所名		多機能型通所事業所くるみ				支援プログラム（放課後等デイサービス）		作成日	令和7	年	2	月	1	日			
法人（事業所）理念		・ 子供たち自身が楽しいを発見し、ひとりひとりが主役になれる居心地の良い空間を作ります ・ 日常的に医療的ケアが必要な子どもが、支援者のもと、安心して過ごせる場所を作ります ・ 子どもたち、家族の思いに真摯に向き合い、地域の方と連携を図りながら共生社会を目指します															
支援方針		・ 障がいを持つ子どもとそこご家族に寄り添い、地域の中で安心して生活をしていくための居場所づくりを目指します															
営業時間			9	時		0	分から		18	時		0	分まで	送迎実施の有無		あり	なし
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	・ バイタルチェック及び全身状態の観察を行い、体調変化の早期発見・対応を行います ・ 健康な心と身体を育むお手伝いをします ・ 意思表示が困難であるお子さまには発達の過程、特性を配慮し、小さなサインから心身の異変に気付けるよう支援をします ・ 食事・排泄・着替えなど基本的な生活リズムを身につけ、安全な生活を子ども自身で送れるよう練習を重ねます ・ 物を片付ける場所や手順を視覚化することで、構造化等により生活環境を整えます															
	運動・感覚	・ 正しい姿勢の保ち方を身につけ、運動機能・筋肉の向上を図ります ・ サーキットトレーニング・風船マット・ボール遊びなどを通し、筋力や手の感覚を覚えます ・ 感覚過敏・鈍麻のあるお子さまにも合わせ、過ごしやすい環境調整を行いながら支援します															
	認知・行動	・ 興味あるものを探り、より自発的に体験しながら視覚・聴覚・触覚などの感覚を使い、認知機能を発達させます ・ 新聞紙遊びやフィンガーペイント、ウォーターマットなど認知機能や感覚の発達を支援します ・ 四季折々にちなんだ行事やイベントを通して雰囲気を感じ、時節を理解する支援を行っていきます															
	言語 コミュニケーション	・ 指さしや絵カード・ごっこ遊びをおこなう事でコミュニケーションの基礎的能力の向上を目指します ・ 絵本の読み聞かせやジェスチャーなどお子さまに合った方法でのコミュニケーションを確保する事で、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝える経験を積むことで、言語を受容し表出する事ができるよう支援を行います															
	人間関係 社会性	・ ふれあい遊び等を通じて、アタッチメントの形成を図り、情緒が安定する事で安心して過ごせるよう支援します ・ 自分の気持ちを言葉やジェスチャー・イラストで伝える、タイマーが鳴ったら片づける等、自分の出来ることや苦手なことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに気持ちや情動の調整ができるよう支援します															
家族支援		お子様の発達や特性に関する状態・成果を共有し、支援内容と意図に関する説明や相談などを実施します							移行支援		お子様の発達や家庭生活、ご家族のニーズに応じ、保育園との並行利用や小学校入学などライフステージの変化に合わせた支援を行っています						
地域支援・地域連携		お散歩やハロウィン、作品展示等で地域の方々と関わる機会を設けています							職員の質の向上		管理者及び児童発達支援管理責任者向けにはリーダー研修やコミュニケーション研修、全職員向けには虐待防止（身体拘束）、事故防止、感染症、災害に関する研修などを行います						
主な行事等		1月・みずき団子、2月・節分会、3月・ひな祭り会、4月・お花見散歩、5月・こどもの日会、6月・公園に行こう、7月・七夕会、夏祭り、8月・ひまわり畑見学、9月・お月見会、運動会、10月・ハロウィン、11月・見学にいこう、12月・クリスマス会 ※保護者参観も実施															